

準備学習ポイント一覧

科目名	臨床化学 I	教員名	難波 俊二	学科/区分	臨床検査 必修	履修年次	2
授業計画	回	授業項目	準備学習キーワード 使用教科書掲載箇所(ページ等)				
	1	臨床化学分析の基礎	キーワード:精度管理、分析方法 教科書の11~87ページの測定値の精度管理、各種の分析方法を良く予習しておいてください。特に、39~55ページの分光光度分析法は臨床化学を学ぶうえで必要な知識となります。				
	2	糖質-1	キーワード:糖代謝、グルコース、糖化、測定方法 教科書の143~149ページの糖質について予習しておく、授業内容が身に付きます。				
	3	糖質-2	キーワード:1,5-アンヒドログルシトール、乳酸、ピルビン酸、測定方法 教科書の150~153ページの糖質について予習しておく、授業内容が身に付きます。				
	4	タンパク質-1	キーワード:総タンパク、アルブミン、測定方法 教科書の183~193ページの内容を予習しておいて下さい。タンパク質は臨床化学の勉強をするうえで、とても重要です。				
	5	タンパク質-2	キーワード:血清蛋白分画、免疫グロブリン、測定方法 教科書の193~204ページの内容を予習しておいて下さい。蛋白電気泳動の各分画に含まれる各蛋白質の種類と疾患との関連性はとても重要です。				
	6	脂質-1	キーワード:アポ・リポタンパク、コレステロール、測定方法 教科書の154~166ページの脂質とリポタンパクの予習をしておいてください。特に、リポタンパクの構造と種類、コレステロールの検査方法は大変重要です。				
	7	脂質-2	キーワード:中性脂肪、リン脂質、遊離脂肪酸、測定方法 教科書の166~182ページの予習をしっかりと行ってください。トリグリセリド、リン脂質については、それらの測定方法が重要です。				
	8	酵素-1	キーワード:酵素活性、AST、ALT、LD、CK、ALP、γGTP、ChE、AMY、測定方法 教科書の88~105ページは酵素的分析法を理解するために必要な基礎的な事項が記載されていますので、しっかりと予習をして下さい。224~249ページは臨床検査で測定されている重要な酵素について記載されています。				
	9	酵素-2	キーワード:リパーゼ、酸性ホスファターゼ、ADA、NAG、測定方法 教科書249~276ページに記載されています酵素の種類、測定方法などを予習しておいてください。				
	10	非タンパク性窒素成分-1	キーワード:アンモニア、尿素、クレアチン、クレアチニン、測定方法 教科書の205~215ページのアンモニア、尿素、クレアチンおよびクレアチニンについて予習しておいてください。				
	11	非タンパク性窒素成分-2	キーワード:尿酸、ビリルビン、測定方法 教科書の215~223ページの尿酸、ビリルビンについて予習をしておいてください。				
	12	無機質-1	キーワード:微量元素、電解質、重碳酸イオン、カルシウム、無機リン、測定方法 教科書113~133ページの電解質と微量元素について予習をしておいてください。特に、Na、K、ClおよびCaは、測定方法が重要になります。				
	13	無機質-2	キーワード:微量元素、マグネシウム、鉄、銅、亜鉛、測定方法 教科書133~142ページのMg、Fe、Cu、Znについて予習をしておいてください。特に、これらの測定方法が重要になります。				
	14	ホルモン、血中薬物、生体色素	キーワード:分類、受容体、下垂体前葉・後葉、測定方法、TDM 教科書281~317ページの各種ホルモンについて、分泌部位や機能について予習しておいてください。教科書319~324のビタミンについては、欠乏症について予習しておいてください。教科書398~401の薬物の種類を予習してください。				
15	機能検査	キーワード:肝機能、心疾患、腎機能、内分泌疾患 教科書329~388の臨床化学と各種病態について、どのような検査が利用されているか。また、それらはどのような病態把握に有用化を予習しておいてください。					
教員からのメッセージ	授業内に小テストを行うことがあります。しっかりと予習と復習を行って授業に臨んで下さい。						